

令和3年度 柏市防災会議

令和4年度 防災事業(案)について

令和4年度 防災施設等整備事業

(1) 耐震性井戸改修工事



建 屋



制御装置・滅菌装置



自家用発電機

場所：柏の葉公園 耐震性井戸付貯水装置
(平成4年に設置した井戸の改修工事)貯水量：45m³

令和4年度 防災施設等整備事業

(2) 手押し式井戸新規整備

現状：各コミュニティエリア毎に平成11年度から令和3年度までに、市内19箇所整備

特徴：手動ポンプ式，操作容易，電気不要の井戸

整備：令和4年度は未整備地区の酒井根地域に整備予定



令和4年度 防災事業

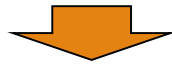
令和4年度 柏市総合防災訓練(図上訓練)

3年ワンサイクルのローテーション訓練

〔令和元年度〕 テーマ別訓練(住民主体訓練)

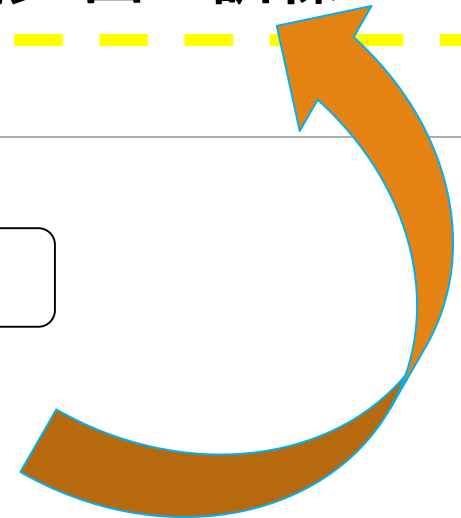


〔令和2年度〕 市民参加型訓練 中止



〔令和3年度〕 市民参加型訓練

〔令和4年度〕 図上訓練



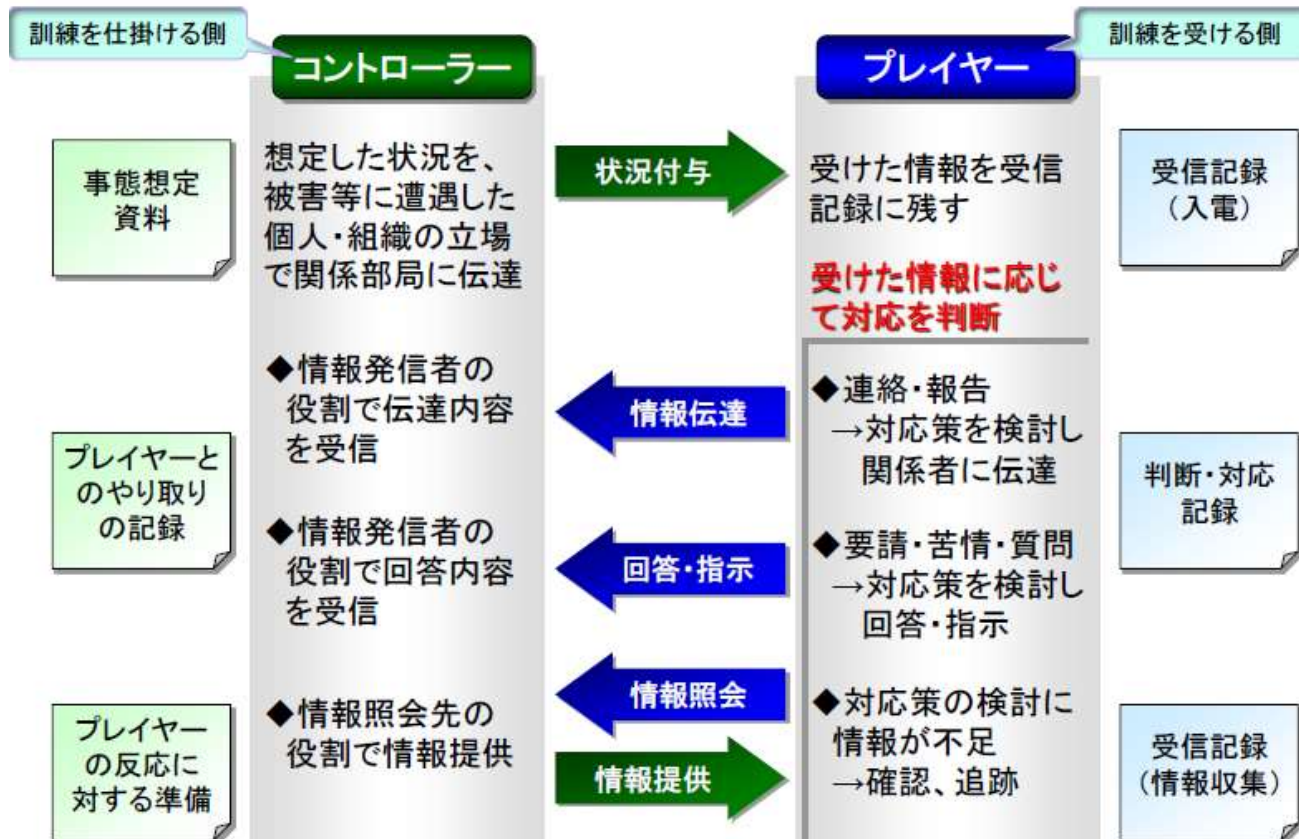
ローテーションさせながら
訓練の多様化を図る

令和4年度 柏市総合防災訓練

令和4年11月 実施予定

実施場所: 柏市役所(災害対策本部他)

1. 訓練の概要 (1)状況付与型訓練の流れ



(2)状況付与型訓練の特徴・目的

1. 様々な時系列と、局面に応じた状況判断と意思決定の重要性及び困難さを疑似体験する。
2. 時々刻々変化する状況を作り出すことで、臨機応変な人員配置や役割行動の重要性を再認識する。
3. 常設の組織ではない災害対策本部の設置と平常時との組織運営の違いを理解する。
4. 大規模災害時に生じる「現場で何が起きているかが分からず、何をすべきかが判断できない状況」を再現することにより、自主的な情報収集の重要性を理解する。
5. 防災関係機関との連携過程を疑似的に作り出し(シミュレーション)、受援の重要性を理解する。

(訓練イメージ)



①会場全体



②災害対策本部



③コントローラーブース



④記者会見



⑤地図を利用した情報



⑥情報整理

平成30年度実施(中央体育館アリーナ)

その他の令和4年度取組事業

1 防災ガイドブック(仮称)

洪水ハザードマップ, あんしんマップ等, 複数の地図を見直し, 防災情報をまとめ, 市民にとって利用しやすいガイドブックを作成します。

2 備蓄品の整備(5箇年計画3年目)

平成30年度に実施した, 被害想定調査結果に基づき, 発災3日後までの備蓄不足を解消するため, これまでの備蓄計画に基づき購入を進めている備蓄品の他に毛布, 便袋, 調理不要食(おかゆ), 生理用品, ペット避難用の初動グッズ購入を進めます。

その他の令和4年度取組事業

3 非常用蓄電池の整備



太陽光で発電可能なソーラーパネルと持ち運び可能なポータブル電源を避難所に整備し、燃料で発電する発電機と併用し、避難所での生活の充実を図るため購入を進めます。

※公用車の電気自動車化及び避難所の蓄電設備の検討を進めています

4 防災行政無線(移動系)の更新整備

平成20年度に整備した通信機器の老朽化が顕著であります。また、技術革新により様々な情報通信が制定される中、災害時においても安定した情報通信の構築を進め、通信手段の機能強化を図り、費用対効果の高い整備を進めます。



その他の令和4年度取組事業

5 災害時特設公衆電話の整備

災害発生時等において通信手段の確保のために被災者等が無料で使用できる電話回線を市内小中学校等の避難所への整備

6 (新)田中北小学校防災施設の整備

防災備蓄倉庫(体育館併設約100m²)

マンホールトイレ

手押し式井戸

※令和5年4月開校

その他の令和4年度取組事業

7 地域防災計画の大幅な修正

災害対策基本法の改正や国等の動向を踏まえた修正，追記
避難所運営職員の確保など庁内体制の見直し

8 要配慮者への支援

個別避難計画の推進

福祉避難所の拡充